

知れば知るほど役に立つ!

# けんぽ特ダネ

2012.8

Vol.4

## お薬代を安くするには?

病院を受診した際に処方される薬。治療のためにはなくてはならない存在です。必要な物だから、薬代は節約できないと思いませんか？  
実は、ちょっとした工夫で薬代を減らすことができます。  
今回は、ジェネリック医薬品についてご紹介します。



## ジェネリック医薬品は「家計にやさしいお薬」

医師が処方するお薬には、「新薬」と「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」があります。「新薬」とはその名のおり新しく開発された薬のことで、特許期間があります。「ジェネリック医薬品」はこの特許期間が切れたあとに、厚生労働省が他のメーカーに同じ有効成分での製造・販売を認めたお薬のことで、

### ジェネリック医薬品は…



価格が新薬の  
2~8割と  
お得

大きさや味、  
においが改善され  
保存性が向上  
したのも

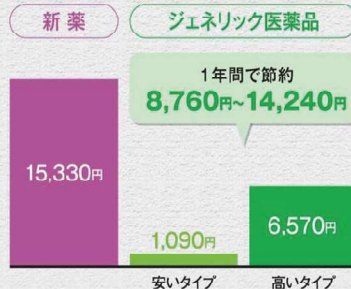
安全性も  
評価済み

(参考) 政府目標 平成24年度までに後発医薬品数量シェア 30%以上(平成23年9月現在 22.8%)

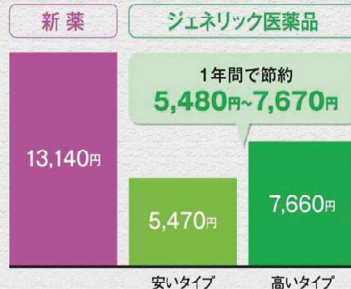
## 新薬とジェネリック医薬品の負担額(3割)比較 (平成24年4月現在)

— 代表的な薬を1日1錠、1年間(365日)服薬した場合 —

● 高血圧



● 糖尿病



※上記の負担額は、薬代だけを計算したものです。実際に窓口で支払う金額は、この薬代以外に調剤技術料などがかります。

## ジェネリック医薬品入手までの流れ

ジェネリック医薬品を使いたいときは、病院や診療所などの医療機関を受診したときに医師に相談するか、調剤薬局で薬剤師に相談してみましょう。

なお、ジェネリック医薬品の希望を言い出しにくい場合は、「ジェネリック医薬品お願いカード」を提示しましょう。



(注意) すべての先発医薬品に対してジェネリック医薬品が製造販売されているわけではないため、変更を希望されても、変更できない場合があります。



医師による処方せんに、先発医薬品の名称が記載されていても、「(後発医薬品への) 変更不可」というチェック欄に医師のサインがなければ、薬剤師と相談して、患者さん自身がジェネリック医薬品を選ぶことができます。

## ジェネリック医薬品の検索

「かんじゃさんの薬箱」では、処方されたお薬の名前を入力するとジェネリック医薬品が検索できます。

URL → <http://www.generic.gr.jp/>



ジェネリック医薬品は、医療用医薬品です。お薬の種類・処方等については、医師、薬剤師の先生にご相談ください。



※ 厚生労働省のホームページおよび日本ジェネリック医薬品学会のホームページ「かんじゃさんの薬箱」を参考に作成